

■ 見学会「地形地質と湧き水 No.2」

今年度、第1回講演会(見学会)「宜野湾市の地形地質と湧き水 No.2」を8月18日(土)の午後2時～5時まで開催しました。見学コースは、大謝名メヌカー(大謝名)→嘉数高台(嘉数)→喜友名泉(喜友名)→大山ヒャーカーガー(大山)の4ヵ所で、参加者は21名でした。夏休み期間中ということで、親子での参加がほとんどでした。講師には、理学博士で当博物館協議会委員である大城逸朗先生を迎え、宜野湾市の地形と地質、湧き水について分かりやすく解説していただきました。琉球石灰岩を“スポンジ”、島尻層群の泥岩(クチャ)を“マナイタ”に例えた説明が好評で、参加者のみなさんが講師のお話に耳を傾けていました。大謝名メヌカーはフェンスで囲まれていて、湧き水の中に入ることはできなかったのですが、喜友名泉や大山ヒャーカーガーでは、実際に湧き水に触れたり、湧き水に棲む生き物を観察している子どもたちがいました。3時間で4ヵ所の見学は駆け足でじっくり見学することができなかったのですが、楽しい見学会でした。

参加者からは、「基地内のカーや遺跡なども見たい!」「周辺のかつての集落の位置や土地利用についても説明してほしい。」との要望がありました。今後の講演会では、夏休み期間中に遊びを取り入れた楽しめる講演会(見学会)を企画して開催できたらいいと思います。

～見学会の様子～



大謝名メヌカー



嘉数高台



喜友名泉



大山ヒャーカーガー

■ 『これまで』も『これから』も…☆

7月29日(日)～9月2日(日)までの日程で、平成19年度企画展「なつかしの宜野湾 ―写真が語る、じの～ん物語―」を行いました。会場内では写真を前に、「あいつ、懐かしいさー」と身を乗り出して見ている方や、「ここ、あっちじゃないの?」と、一緒に来た方と話しながら見ている方、「あいや、昔はそういえばこんなだったさあー」と話しかけてくださる方、「自分なんか学校の昔の写真がある!」と目を丸くして見ている子など、様々な声が聞こえていました。中には、何かのついでに一人で見に来た男性が、後日、奥さんとお子さんを連れて「ここは昔、こんなだったんだよ」と、自らガイドを買って出て案内していた方もいらっしゃいました。こういう光景を見ると、この展示会を開催して良かったと、小さくガッツポーズしたくなる気持ちになります(*^_^*)。今回の展示会には、1,110名とたくさんの方に足を運んでいただきました。やはり、皆さんの声に耳を傾けて取り組む展示会は、人気があるんだなあ…と実感させられ、今後も耳をダンボにして!多くの方々に見に来ていただけるような展示会を開催していこう!と再認識した展示会でした。



▲ 展示会の様子 ▼



■ 宜野湾市の文化財・民俗・芸能図画作品展

当博物館では、今年度も「第16回 宜野湾市の文化財・民俗・芸能図画作品展」を9月22日(土)から10月7日(日)までの約2週間開催しました。これは、市内在住の小中学校の児童生徒に市内にある文化財や、民俗、芸能を題材にして描いてもらうことによって文化財保護の精神を培い、かつ愛郷心を育み、また豊かな表現力を養うことを目的としています。

今年も児童生徒たちに夏休みの期間を利用して描いてもらい、9月10日(月)に各小中学校の美術の先生方に審査していただき、各賞を選出しました。今年も力作が多く、審査をした先生方はとても苦労したようです。今年の出展数は176点で、森の川、喜友名泉、ターンム畑など色々な作品が出展されました。その中から教育長賞に輝いたのは、小学校中学年(3・4年)の部・喜瀬真妃さん(普天間小)、小学校高学年(5・6年)の部・溝渕玲くん(大謝名小)、中学生の部・伊差川幸知さん(真志喜中)でした。おめでとうございます。

今回の「宜野湾市の文化財・民俗・芸能図画作品展」を機に、児童生徒たちが市内の文化財や民俗・芸能に興味を持ち、自分の住んでいる地域の歴史や文化を知ってもらえたらと思います。



▲作品審査の様子



▲図画作品展受賞者

■ 職場体験学習(インターンシップ) & 実習

～博物館ではどんな仕事をしているんだろう?～

宜野湾市立博物館では、毎年数校の職場体験学習(インターンシップ)・実習の要請がありますが、今年度は10月の時点で3校の職場体験学習・学芸員実習・社会教育主事実習(の一環)を受け入れています。

7月には、学芸員実習生として約10日間、県外の大学から1名(女性1名)の学生を受け入れました。企画展「なつかしの宜野湾—写真が語る、じの〜ん物語」開催前ということで、実習の大半はキャプション作製や展示作業など、企画展に関する内容を行いました。また、企画展準備以外にも、学芸員が行う様々な作業にも取り組んでももらいました。9月には、琉球大学の学生(女性3名)が、社会教育主事の資格を取るための一環として1日でしたが実習に訪れ、10月には真志喜中学校(男子1名・女子1名)の生徒が職場体験学習(インターンシップ)を行いました。内容としては、学芸員の仕事(展示室の案内・資料採取・台帳記入・展示会考案等)を中心に体験してもらいました。

学生や生徒の皆さんが、今回の体験を通して労働することの楽しさ・厳しさを少しでも感じてもらえたら良いなと思い、今後、何らかの形で活かしてもらえれば良いなと思います☆



◀ 学芸員実習の様子

職場体験学習の様子 ▶



■ わらば～体験じゅく報告♪

暑い夏も終わり、空には鱗雲が広がりすっかり秋めいてきました。わらば～体験じゅくでは、去る7月22日(日)に「大山の大綱引き」、8月19日(日)には「はごろも闘牛大会」に参加しました。「大山の大綱引き」では、前村渠と後村渠に分かれ、炎天下の中、道ジュネーから参加しました。子ども達は、「暑い～疲れる～」と文句を言っていたのですが、婦人会の方から冷たい飲み物やお菓子を貰うとすっかり元気になり、楽しく行進していました。会場では旗頭のガーイーや婦人会による踊りを見学し、子ども達は迫力満点のアギエーを体験しました。「はごろも闘牛大会」では、1トンを超える闘牛の大きさにみんな圧倒され、ゴツゴツという闘牛のぶつかる迫力にみんな見入っていました。子ども達からは「血が出てかわいそう。。。」、「すごい!」「怖い」など様々な声が聞こえてきました。闘牛にも慣れてくると闘牛が繰り出すワザや歴史をプリントを見ながら勉強し、闘牛大会終盤にはすっかり闘牛に詳しくなっている子もいました。

わらば～体験じゅくでは、今後も学校や家庭ではなかなかできない貴重な体験をしていきたいと思います。



■ 語り継がれる年中行事

沖縄県には様々な行事があり、神々や祖先とのつながりを大切にする風習があります。その風習は地域等によって多少異なる点もあるようですが、今回は旧暦の8月・9月に宜野湾市内で行われる行事の中から、いくつか触れてみたいと思います。

★ 8月15日：ジューグヤー < 十五夜 >

この日は、家庭でフチャギ餅を作り、火之神や霊前に供えました。この日をウチチウマチー(お月お祭り)ともいい、餅は月をあらわし、豆は星をあらわすとも言われました。

これからわかるようにジューグヤーは、豊かに実った農作物を神に感謝するという、豊年祭としての行事です。夜になると、村芝居や獅子舞、棒術などの「八月遊び」が催されたり、角力大会、民謡大会が行われました。また、そこに集まる見物客めあての、物売りも大勢やってきて大変にぎわいました。



▲ フチャギ餅

★ 9月7日：カジマヤー < 97才の祝い >

カジマヤーの語源は、97才になると子どもになりかわってカジマヤー(風車)をもって遊ぶ意味から来たとか、カジマヤーのお祝いが、カジマヤー(十字路)で行われるからなど、言い伝えられています。

この、カジマヤーまで祝える長寿の人は戦前は、ごくごくまれで、それを見た人も非常に少ないようです。

入館料免除・資料館外貸出の申請について

◎ 申請する場合は、手続きが必要です ◎

博物館では入館料の免除申請と、資料の館外貸出申請を行うことができます。
申請書に必要事項を記入の上、入館・貸出を希望する日の**1週間前（休日や祝祭日を除いた1週間前にご協力お願いします）**までに、直接博物館に提出してください。

※申請書は内容等、又は当館の業務に支障がないか検討の上、許可の可・不可の通知を致します。

■入館料の免除申請に該当する団体■

- ①宜野湾市内の小・中・高等学校で、教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。
- ②宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。
- ③その他、館長が免除することが適当であると認めた者。



■主な貸出資料■

- 収蔵品 ○ビデオ ○写真パネル

～☆～ あなたの家に、眠っていませんか？ ～☆～

博物館では、宜野湾市を中心とした様々な生活用品や、当時の暮らしが分かる道具・写真・映像などの収集を行っています。宜野湾市の歴史や自然に関する資料也大歓迎です！！

もし「こんなものがあるけど、どうかな？」と思っている方は、博物館までご連絡ください。職員がお伺い致します。



～ 市立博物館にて、証明書の交付を行っています ～

住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明のみ、市立博物館の窓口にて申請を行えば発行されるという仕組みです。

★注意事項

- 1) 火・土・日、祝祭日、慰霊の日、年末年始は休みです。
※休館日に祝祭日が重なる場合には、翌日の休みでない日が振替休日となります。
また、くん蒸などの臨時休館日も休みになります。
- 2) 午前9時～午後4時30分までの受付となっています。
- 3) 上記のとおり、住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明以外は交付できません。

～ 平成 19 年度の事業案内 ～

2007年 4月 ～ 2008年 3月

月	日	曜日	内 容	期 間
12	8	土	第2回講演会(見学会) 「宜野湾市のウタキめぐり」	※要申し込み 11月11日(日)～ 11月29日(木)まで
1	20	日	展示会 「新収蔵品展」	2月18日(月)まで ※入場無料
毎月第3土曜日 (内容によっては、 変更があります)			子ども博物館 第8期 「わらばー体験じゅく」	★10月は漆喰シーサー ★11月は自然観察会 ★12月は????? ※受付は終了 2007年6月～ 2008年2月まで

※日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。

◎詳しい日程や内容は、事業開催前に配布するチラシ等、あるいは市報や新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネット、ホームページ等をご覧ください。博物館までお問い合わせください。

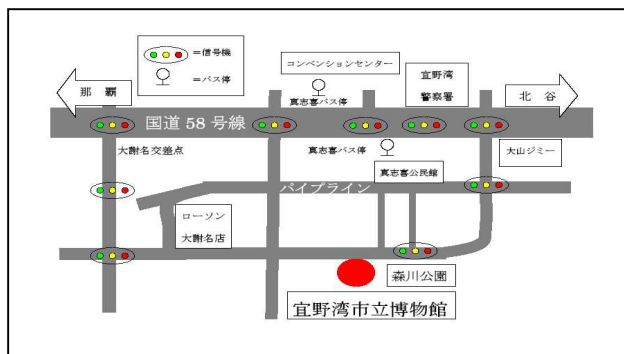
常設展示室入口(右側) ☆『宜野湾人の顔』コーナー☆展示替えしました。

～“【伊佐区】のみなさん”の顔写真を展示中!～

『宜野湾人の顔』コーナーでは、宜野湾市で生まれ育ってきた方々の顔写真を展示しています。今回は、【伊佐区】の方々に参加してもらい、先輩方(大正・昭和生まれ)7名と子どもたち(小学生)6名の計13名の顔写真を10月3日(水)から展示しています。約3ヶ月ごとに展示替えをしており、今回の展示は12月28日(金)までの予定です。【伊佐区】のみなさん、ご協力ありがとうございました。

※『宜野湾人の顔』の展示を見学する際には、常設展示室観覧料が必要となりますので、あらかじめご了承ください。

◆ 宜野湾市立博物館の案内 ◆



△大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098-870-9317

FAX : 098-870-9316

★2階の図書室は、無料でご利用できます。
但し、窓口での受付が必要です。

◎ 開館日・入館受付時間

平日、土、日曜日の午前9時～午後5時
(入館受付は午後4時30分まで)

◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年末年始(12月29日～1月3日)
※その他、くん蒸による臨時休館日あり
※休館日に祝祭日が重なる場合には、翌日の休みでない日が振替休日となります

◎ 常設展示室 観覧料

	大 人	高校・大学生	小・中学生
個 人	200円	100円	50円
団 体	150円	50円	30円

※団体は20名以上からとなります。

※高校・大学生は、学生証の提示をお願いします。

※障害者の方は、障害者手帳を提示すると無料になります。